



第3回 ISO 20022勉強会

ISO/TC68国内委員会事務局

2015年2月10日

勉強会の構成



第1回: ISO 20022がもたらす金融ビジネス変革の可能性

第2回: ISO 20022導入に伴う実務上の課題と対応

第3回: 広がるデータの世界

第1回 ISO 20022勉強会



第1回 ISO 20022勉強会

- (1) イントロダクション(TC68国内委員会事務局)
—— 国内外でデータ環境が大きく変化する中、金融業務や金融サービスの変革をもたらす規格として重要性が高まる。
- (2) ISO 20022について(SWIFT様 <ISO 20022登録局>)
—— ISO 20022の開発経緯、特徴(モデリング、XML、リバースエンジニアリング等)、開発・管理体制、インターオペラビリティ等。このほか、メタ標準アプローチ、導入事例として、送金指図メッセージのISO 20022対応やTSU。
- (3) XBRLについて(XBRL Japan様)
—— 各国のXBRL採用動向、資本市場・税務・金融分野でのSTR、タクソノミー採用、米連邦預金保険公社(FDIC)での導入事例、また、ISO 20022とXBRL USとの連携等。

第2回 ISO 20022勉強会



第2回 ISO 20022勉強会

(1) イントロダクション(TC68国内委員会事務局)

—— 第1回 勉強会の振り返り。主な内容は、全体像(データ環境を巡る大きな変化や技術革新による新しい可能性)、技術的特性であるモデリング、XML採用等。

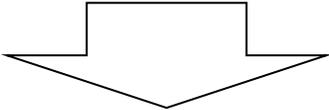
(2) ISO 20022導入に伴う実務上の課題と対応(証券保管振替機構様)

—— 証券保管振替機構のシステム(決済照合システム、振替システム)について、導入経緯や今後の国際標準化への取り組み。

第3回 ISO 20022勉強会



○ 検討経緯

- ISO 20022は、XML採用により、柔軟性や拡張性に優れたデータ活用が期待できる。つまり、既存の金融業務を大きく変え、新しい金融サービスを生み出す可能性がある。
 - ISO 20022メッセージを活用して既存の金融業務を大きく変える事例は徐々に出てきている。
 - ✓ フィンランド提案の“Authorities Financial Investigation”、“Invoice Tax Report”、英国提案による“Account Switching”等。
 - 一方、新たな金融サービスについては、まだ具体的な事例が出てきていないことが実情。
- 
- ISO 20022に限らず、データの世界の動向を理解することが、大きな参考となり得るのではないか。

第3回 ISO 20022勉強会



第3回 ISO 20022勉強会の題目

- (1) 決済の構造変化と決済データを活用したビジネス
 - ✓ 決済データを活用した新しい金融サービスの事例を取り上げる。
- (2) EDI/SCMの現状と近未来
 - ✓ EDI/SCMの現状と近未来を産業界からの視点で捉えていく。
- (3) LODの世界
 - ✓ オープンデータやその応用例、さらにオープンデータがリンクによって連携されたLODについて取り上げる。

以 上